

輸血情報

【輸血血液の保管検体等にウイルス核酸が検出された症例 - 2003年 - 】

輸血によるウイルス等の感染が疑われ、2003年に医療機関から赤十字血液センターに報告された症例(自発報告)及び献血後情報に基づく遡及調査*を行った症例の中で、輸血血液の保管検体等にウイルス核酸が検出されたものは15例(HBV:12例、HGV:1例、HIV:1例、ヒトパルボウイルスB19:1例)でした。

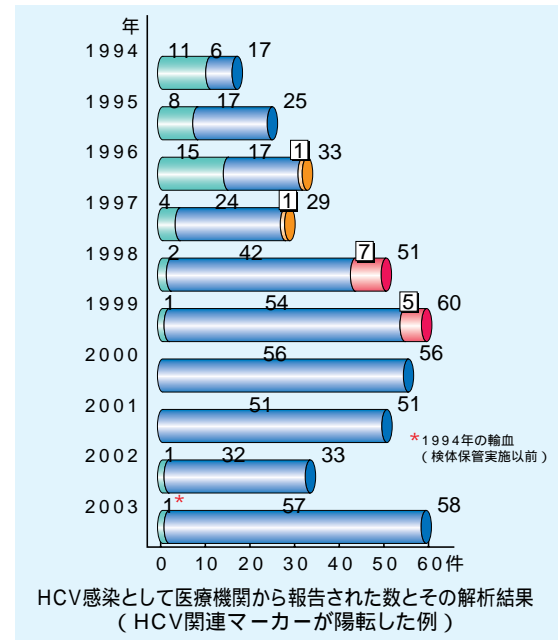
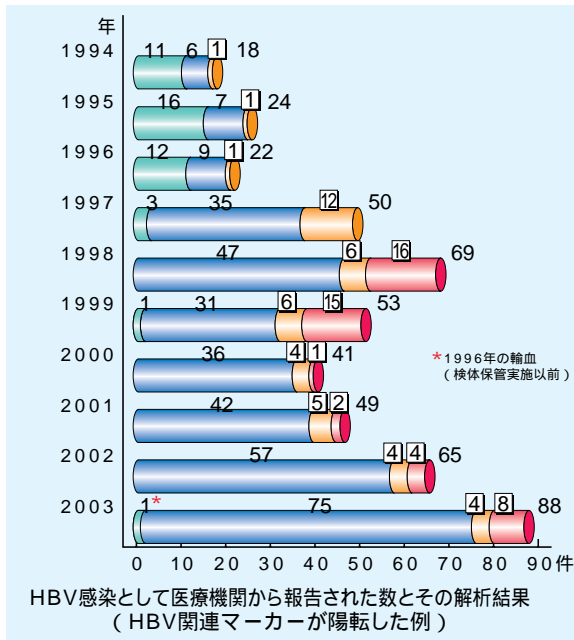
* 献血後情報に基づく遡及調査

献血後に献血者、検査データ、医療機関等から得られた血液製剤についての安全性に関する情報に基づいて、過去の血液製剤等の使用状況や受血者の感染の有無等を調査することです。

2003年は、複数回献血者の感染症検査陽転情報による遡及調査を、前年以前の事例についても行った症例が含まれています。

輸血による感染の疑いとして赤十字血液センターに報告された症例及び献血後情報への対応症例の件数とその解析結果【HBV・HCV】 1994～2003年

■ 解析できなかった症例(自発報告症例) ■ 輸血血液の保管検体等にウイルス核酸が検出されなかった症例(自発報告症例) ■ 輸血血液の保管検体等にウイルス核酸が検出された症例(自発報告症例) ■ 輸血血液の保管検体等にウイルス核酸が検出された症例(献血後情報に基づく報告症例)



症例概要(献血血液の保管検体等にウイルス核酸が検出された症例)

【HBV】(2003年)

● 自発報告: 輸血によるウイルス感染の疑いとして医療機関から赤十字血液センターに報告された症例

症例 No.	原疾患	輸血用血液(採年月)	年齢	性別	輸血前の検査結果	輸血後の検査結果 []:輸血からの期間(週)	ALT		経過			輸血からの期間(週)
							最高値(IU)	最高値までの期間(週)	HBV DNA	HBs 抗原	HBs 抗体	
1	胃癌術後、転移性肝癌	RC-M・A・P (2002.9)	70代	男	HBs抗原-	HBs抗原+ [26.4]	8,600	26.4	+	+	-	26.4
2	鼻腔悪性黒色腫	FFP (2002.1)	60代	女	HBs抗原-	HBs抗原+ HBV DNA+	1,285	40.3	+	-	+	59.3
3	大動脈弁輪拡張症	Ir-PC (2001.4)	60代	男	HBs抗原-	HBs抗原+ [105.6]	110	110.6	+	+	-	110.6
4	胃潰瘍	Ir-RC-M・A・P (2001.1)	50代	男	HBs抗原-	HBs抗原+ [18.3]	874	14.3	+	N.T.	N.T.	138.3

● 献血後情報: 献血血液の50検体プールNAT陽性献血者における前回献血血液の個別NAT陽性情報に基づき遡及調査を行い、医療機関から赤十字血液センターに報告された症例

5	胃癌	Ir-RC-M・A・P (2003.1)	70代	女	HBs抗原-	HBs抗原+ [29.3]	837	29.3	+	N.T.	N.T.	32.0
---	----	----------------------	-----	---	--------	---------------	-----	------	---	------	------	------

保管検体等にウイルス核酸が検出された輸血血液の種類 入手できた最新の検査結果
患者検体と保管検体等のウイルス同一性が確認できなかった症例

● 献血後情報：献血血液の血清学的検査陽転化献血者における前回献血血液の情報に基づき遡及調査を行い、医療機関から赤十字血液センターに報告された症例

症例 No.	原疾患	輸血用血液 (採血年月)	年齢	性別	輸血前の検査結果	輸血後の検査結果 [] ;輸血からの期間(週)	ALT		経過			
							最高値 (IU)	最高値までの期間(週)	HBV DNA	HBs 抗原	HBs 抗体	輸血からの期間(週)
6	胃癌	FFP (2002.7)	80代	男	HBs 抗原 -	HBs 抗原 + HBV DNA + [25.3]	550	25.3	+	+	-	25.3
7	悪性リンパ腫	Ir-PC (2002.11)	60代	男	HBs 抗原 -	HBs 抗原 + [45.0]	27	46.0	+	+	-	46.0
8	糖尿病性腎症	FFP (2000.9)	50代	女	HBs 抗原 -	HBs 抗原 + [22.6]	77	21.6	N.T.	+	N.T.	55.6
9	熱傷、外傷	FFP (1998.5)	70代	女	HBs 抗原 -	HBs 抗原 + HBV DNA + [279.7]	33	279.7	+	+	-	279.7
10	胆石症	Ir-RC-M・A・P (2000.4)	60代	男	HBs 抗原 -	HBs 抗原 - HBs 抗原 + [177.9]	24	146.9	-	-	+	177.9
11	急性大動脈解離	FFP (1998.9)	40代	女	HBs 抗原 -	HBs 抗体 + HBs 抗原 + [95.6]	992	95.6	+	N.T.	N.T.	97.0
12	胃癌	RC-M・A・P (2003.10)	70代	男	HBs 抗原 - HBV DNA -	HBs 抗原 - HBV DNA + [9.1]	17	2.0	+	-	-	9.1

【HGV】(2003年)

● 自発報告：輸血によるウイルス感染の疑いとして医療機関から赤十字血液センターに報告された症例

症例 No.	原疾患	輸血用血液 (採血年月)	年齢	性別	輸血前の検査結果	輸血後の検査結果 [] ;輸血からの期間(週)	ALT		経過	
							最高値 (IU)	最高値までの期間(週)	HGV RNA	輸血からの期間(週)
1	急性骨髄性白血病	PC (2003.4)	30代	男	HGV RNA -	HGV RNA + [16.1]	279	7.0	+	21.7

【HIV】(2003年)

● 献血後情報：献血血液の血清学的検査陽転化献血者における前回献血血液の情報に基づき遡及調査を行い、医療機関から赤十字血液センターに報告された症例

症例 No.	原疾患	輸血用血液 (採血年月)	年齢	性別	輸血前の検査結果	輸血後の検査結果
1	-	FFP (2003.5)	-	男	HIV RNA - HIV 抗体 -	HIV RNA + HIV 抗体 +

【ヒトパルボウイルスB19】(2003年)

● 自発報告：輸血によるウイルス感染の疑いとして医療機関から赤十字血液センターに報告された症例

症例 No.	原疾患	輸血用血液 (採血年月)	年齢	性別	輸血前の検査結果	輸血後の検査結果 [] ;輸血からの期間(週)
1	発作性夜間血色素尿症	Ir-WRC (1999.8)	50代	女	不明	B19 IgM + B19 DNA + [2.0]

保管検体等にウイルス核酸が検出された輸血血液の種類入手できた最新の検査結果
ヒトパルボウイルスB19の場合は飛沫感染も考えられる
患者検体と保管検体等のウイルス相溶性が確認できなかった症例

核酸増幅検査(NAT)の実施状況【1999年7月～2004年7月】

献血血液(HBs抗原検査陰性、HBc抗体検査陰性、HCV抗体検査陰性、HIV-1抗体検査陰性、HIV-2抗体検査陰性、ALT正常のもの)に対するNAT陽性数等は次のとおりです。

検体プールサイズ	検体数	NAT陽性数(頻度)		
		HBV	HCV	HIV
500(1999年7月～2000年1月)	2,140,207	19(約1/11万)	8(約1/27万)	0(-)
50(2000年2月～2004年7月)	24,409,718	468(約1/5万)	71(約1/34万)	8(約1/305万)
計(1999年7月～2004年7月)	26,549,925	487(約1/5万)	79(約1/34万)	8(約1/332万)

参考1. 全国の推定輸血患者数 - 2003年 -

101万人

$$\left[\begin{array}{l} \text{輸血用血液の年間} \\ \text{総供給単位数(全国分)} \\ \text{東京都輸血モニター病院の} \\ \text{年間総輸血単位数} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{東京都輸血モニター病院の} \\ \text{年間総輸血患者数} \end{array} \right]$$

参考2. 輸血後肝炎の診断基準 - 抜粋 -

- 1 輸血後2週以降6か月の間に、S-ALT (S-GPT) が100I.U./L以上の肝機能異常が初発し、継続的に2週以上に及んだ場合、輸血後肝炎と診断する。
 - 2 上記1の症例の中で、輸血後に、HBs抗原が陽転するかHBV-DNAが陽性化したものを輸血後B型肝炎と診断し、同じくHCV抗体が持続陽転するかHCV-RNAが陽性化したものを輸血後C型肝炎と診断する。
- 1996年3月 厚生省肝炎研究連絡協議会 (輸血後感染症に関する研究班)

輸血用血液または血漿分画製剤の使用による副作用・感染症が疑われた場合は、直ちに赤十字血液センター医薬情報担当者までご連絡ください。また、原因究明のために、使用された製剤及び患者さんの検体(使用前・後)等の提供をお願いします。
なお、使用された製剤はできるだけ清潔な状態で冷所に保存しておいてください。

《発行元》

日本赤十字社 血液事業本部 医薬情報課

〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目4番1号

秀和芝パークビルB館14階

ホームページ <http://www.jrc.or.jp/mr/top.html>

* お問い合わせは、最寄りの赤十字血液センター 医薬情報担当者へお願いいたします。